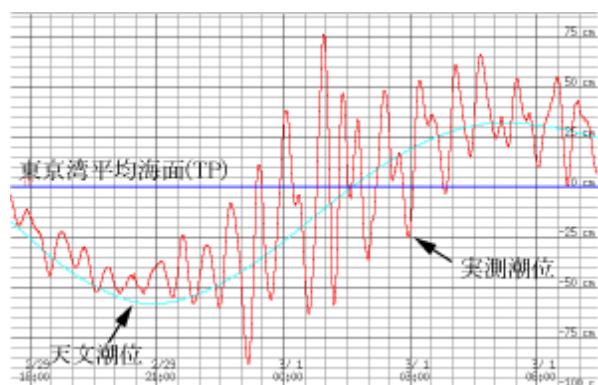


## 2004年3月1日に発生した副振動

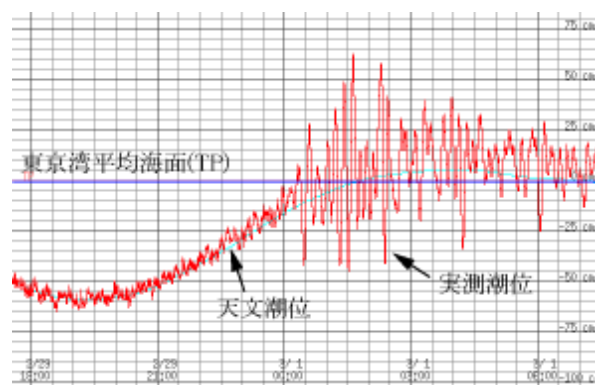
2004年2月29日～3月1日の長崎、種子島、枕崎、油津の各検潮所におけるあびき(副振動)の時系列を示します。横軸は時間で30分間隔です。また、縦軸は東京湾平均海面(TP)上の潮位で、5cm 間隔です。

各地とも最大全振幅は3月1日午前1時前後に発生しています。最大全振幅及び周期は次のとおりです。

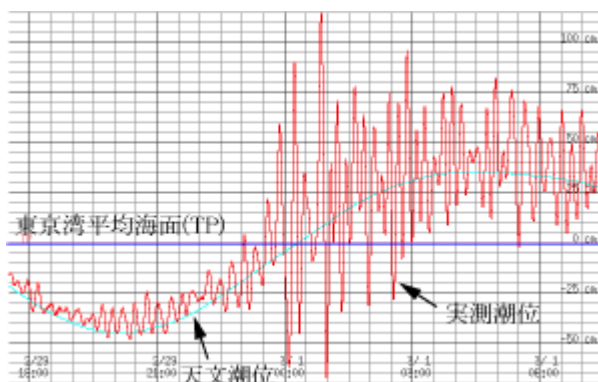
	最大全振幅(cm)	周期(分)
長崎	137	35
種子島	100	12
枕崎	160	20
油津	100	22



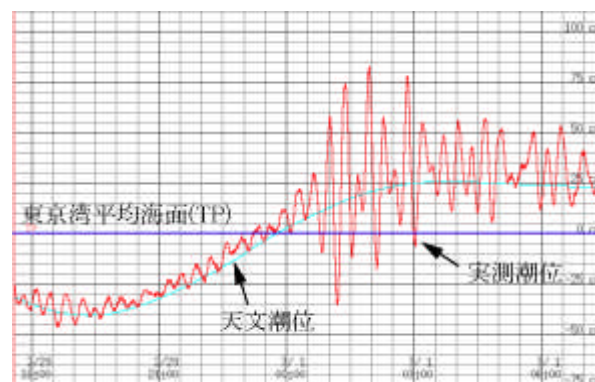
長崎



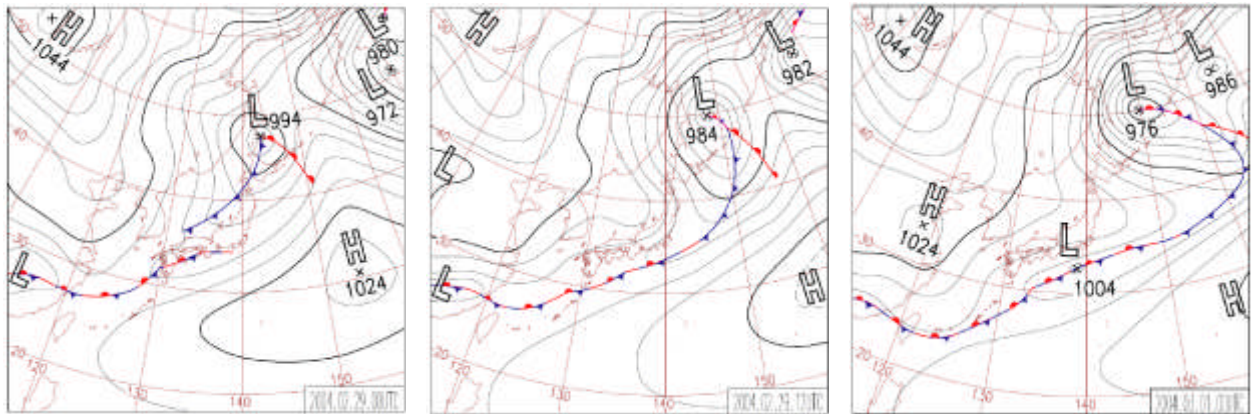
種子島



枕崎



油津

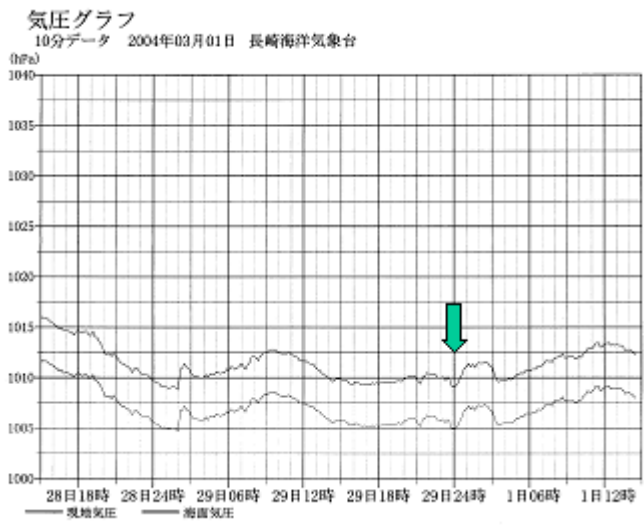


2004年2月29日09時

2004年2月29日21時

2004年3月1日09時

2004年2月29日から3月1日にかけては九州付近にあった停滞前線が次第に南下し、大陸から高気圧が張り出してくる気圧配置でした。



長崎海洋気象台の観測値をみると、2004年3月1日午前0時頃と3時頃に気圧の急変がみられます。